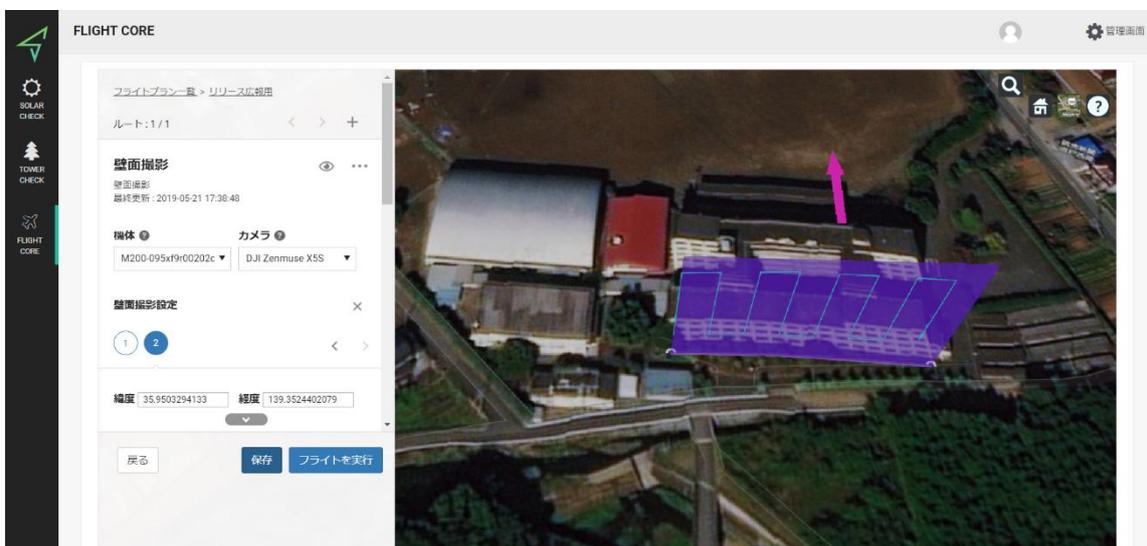


センシンロボティクス、業務自動化統合プラットフォーム『SENSYN FLIGHT CORE』に3D ルートを作成できる機能を追加

DaaS 型ドローンソリューションによる業務の完全自動化を目指す株式会社センシンロボティクス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：間下直晃、以下センシンロボティクス）は、業務自動化統合プラットフォーム『SENSYN FLIGHT CORE』に3D ルートを作成できる機能を追加しました。



今回のアップデートでは、壁面スキャン機能と3Dウェイポイントの機能を追加。壁面撮影、2面撮影が可能になり、建物の壁面撮影を簡単にできるようになりました。

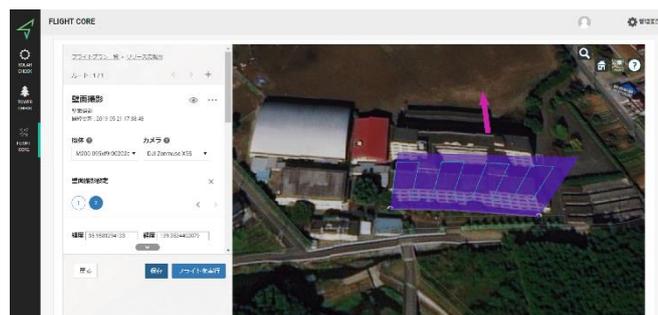
また、ウェイポイントが3Dに対応し、ウェイポイントの設定を立体的に表示できるようになりました。従来のサービスでも高度の設定は可能でしたが、より直感的なウェイポイントの設定が可能になることで業務への適用が容易になります。

【追加機能について】

・壁面スキャン

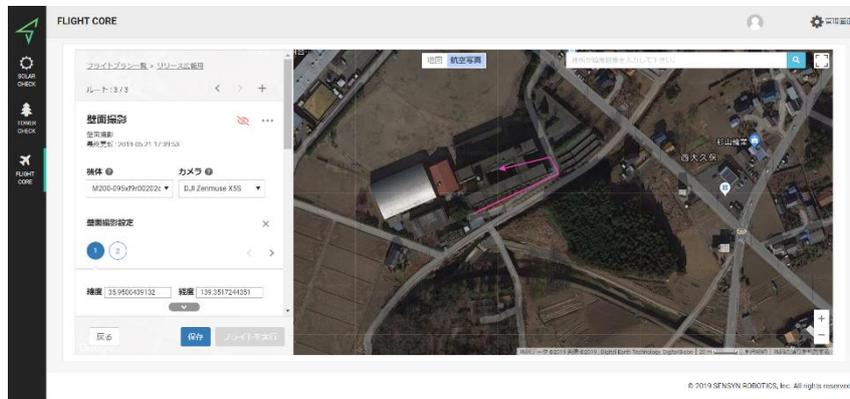
倉庫や工場、マンションといった建物の壁面撮影を、簡単な設定で行うことができます。一面だけでなく、複数面での撮影も可能です。

・3Dウェイポイント

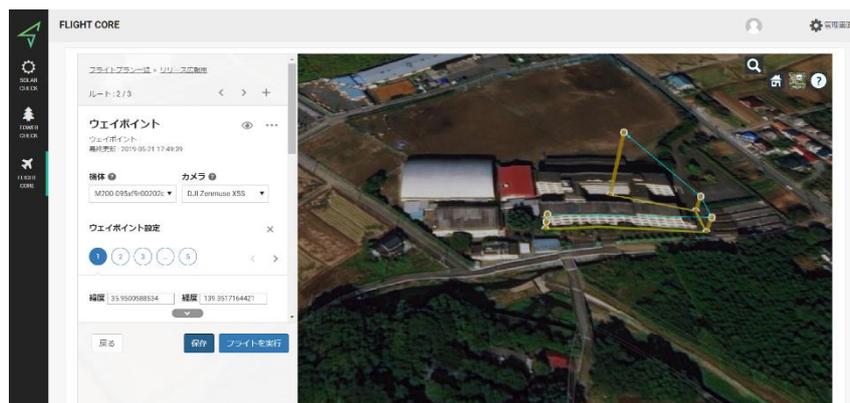


これまで平面マップ上でのみ設定ができていたウェイポイント機能が 3D マップに対応しました。立体構造物に対する撮影の際に、同じ箇所でも高さを変えて撮影をするようなシチュエーションでのルート設定が行いやすくなります。

壁面スキャンでは対応しきれない様々な構造物に対しての自動での撮影が可能になります。



従来の 2D 画面



3D 画面

従来、産業におけるドローンの活用にはドローンの操縦・撮影など専門のスキルが必要でした。特に建物などの特定の箇所を撮影となると、撮影の難易度はさらに上がります。本プラットフォームをご利用いただくことで、特別な技術がなくても簡単にドローン飛行の設定を行うことが可能になります。

【SENSYN FLIGHT CORE について】

『SENSYN FLIGHT CORE』は、簡単なフライト設定や、フライトプラン・実績データの一元管理、複数機での同時飛行や様々なメーカーのドローンへの対応、UTM*への接続など、業務の自動化に不可欠な充実した拡張機能を備えた、顧客業務の自動化を実現する統合プラットフォームです。

ドローンを活用した産業ソリューションにおいて、実際の業務に適用する際の「ドローンの操縦や撮影された映像の確認作業を行うためのオペレータ（人力）の不足」や「その育成・確保にか

かる工数」といった問題を解決する方法として、ドローン活用業務の完全自動化を推進してまいります。

サービス詳細：<https://www.sensyn-robotics.com/solution/sensynflightcore>

*UTM…無人航空機管制。Unmanned Aerial System Traffic Management の略。

【センシンロボティクスについて】 <http://www.sensyn-robotics.com>

2015年10月の設立以降、『ロボティクスの力で、社会の「当たり前」を進化させていく。』をミッションに掲げ、ロボティクスの力により業務の完全自動化を実現することで、設備点検、災害対策、警備・監視を中心とする様々な領域における、目の前に差し迫った具体的な社会課題に対してチャレンジを続けていきます。

DaaSとは…Drone as a Service の略。顧客はドローンを購入することなく、センシンロボティクスのドローンソリューションをサービスとして利用することが可能です。ドローン導入・運用コストの低減やメンテナンス・アップグレード作業からの解放といったメリットがあります。

本社所在地：東京都渋谷区恵比寿二丁目36番13号 広尾MT Rビル7階

設立：2015年10月

代表：代表取締役社長 間下 直晃

【報道関係のお問い合わせ先】

事業企画部 広報担当：妹尾

TEL：03-5488-6106 E-mail：m-senoo@sensyn-robotics.com

広報窓口：武田／小金丸

TEL：090-3102-3659 E-mail：pr@sensyn-robotics.com